

○16番 白橋陽那君

中京中学校3年、白橋陽那です。私は、現在の献血者の割合や献血者の減少について、質問します。

○議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

白橋議員の御質問にお答えいたします。まずコロナ禍での献血者数が減っているということでございますけれども、まず、最初に献血の大枠について説明させていただきたいと思っております。

献血は、国から唯一採血事業者として許可を受けている日本赤十字社が行っています。都道府県や市町村では、献血に対する住民の理解を深め、日本赤十字社が円滑に献血の受け入れができるように、いろいろな施策を行う役割を担っています。そのほか多くの企業やボランティア団体等が協力団体としてかわり、献血が行われているところでございます。

さて、献血者数についてですが、全国的には最近10年間で見ると減少傾向になっております。しかし直近3年間で見ると、50代の方の伸びを中心に増加傾向にございます。行橋市においても同様の傾向となっております。しかし、コロナ禍において、緊急事態宣言等の期間に献血が実施できなかったことなどによりまして、献血者数の増加に影響が出ていることも事実です。なお、献血者数を年代別にみると、若い世代ほど低く、特に20代から30代が減少傾向にあります。以上です。

○議長 龍山咲良君

白橋議員。

○16番 白橋陽那君

ありがとうございました。次の質問に移ります。

では、範囲を広めて、福岡県の献血者数の直近の推移は、どうなっていますか。

○議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。福岡県の献血者数の推移に関しましては、先ほど申し上げたようなかたちで、基本的には全国と同じような流れでございます。そしてさらに行橋市のことについても触れさせていただいてよろしいでしょうか。

(白橋君「はい」の声あり)

行橋市では、年4回の献血バスでの定期的な献血活動を行っています。また、市内の企業やボランティア団体が協力して、企業、商業施設、それから高校等でも献血活動が行われています。献血者数を増やすための取り組みとしましては、市報や行橋の公式LINEのタイムライン等でお知らせをしたり、ポスターなどを張り出すなどをして、広報を行っております。また過去に献血をしたことのある方に対してハガキでの御案内をしています。

そして、福岡県では、各種セミナーやキャンペーン等の実施によって、若者に対して啓発を行っているほか、日本赤十字社では、近年、献血Web会員にメールで献血情報をお知らせしたりしている次第でございます。

ちょっと質問の趣旨と違うかもしれませんが、取りあえずここまで答えさせていただきます。

○議長 龍山咲良君

白橋議員。

○16番 白橋陽那君

私は、この献血の話をもととしてみて、子育て世代の参加が大事だと思いました。そこで子育て世代が献血に参加しやすくするために、子どもを預けられるサービスや献血をすると、献血をすることで子育て世代が助かる様々なサービスの提供をしたらどうですか。

○議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

ありがとうございます。この子育て世代を中心に、より参加しやすい環境をつくるということでございますけれども、先ほど答弁で少しお話させていただきましたけれども、やはりこの若い世代の献血者数、これが減少傾向にあるわけですが、全体の献血者数を増やすためには、御指摘のように、この若い世代、特に子育て世代の献血参加への促進といったものが大変重要になってくると考えております。

全国的に見ますと、献血をしている間、例えばお子さんを預かっていただくようなサービスがございます。またその他にもラブラッドというサービスがあるんですけども、これはポイントを溜めて記念品と交換する、そういったものがございます。いま議員からも御提案いただきましたように、献血をするためということだけではなく、献血をしてもいいかなと思っていただけるようなサービス・特典を付けるということは、献血をする方の立場にたったユニークな発想だと思います。そういった趣旨に沿ってより効果的なサービスができないかどうか、我々も研究・検討をしていきたいと思っています。

以上です。

○議長 龍山咲良君

白橋議員。

○16番 白橋陽那君

では、献血のために施設を借りることとかは可能なのですか。

○議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

福祉部長。

○福祉部長 木野雅博君

献血のために施設を借りるということでございます。基本的には献血を行う事業者は、日本赤十字社でございます。ただ、先ほど最初に市長が答弁しましたように、都道府県や市町村は、献血ができるような、いろんな施策を行う役割があるということでございますので、それに対しては協力的な立場をとらなければいけないということでございますので、まず赤十字社が行いますけれども、そういったものに対してサポートしていくような役割だと考えております。

○議長 龍山咲良君

白橋議員。

○16番 白橋陽那君

以上で質問を終わります。ありがとうございました。